

善光寺だより

◆謹啓 梅雨の候となり、庭前のあじさいの色も雨空に鮮やかに映え、晴れ間にのぞく太陽もようやく夏の

陽ざしとなりました。港南の成寿山におかれましては尊董山主様はじめご家族、諸学僧の皆々様も、いよいよ清祥の段、誠に大慶に存じます。

さて、先般は留学生と共に突然お伺いし、ご多忙中にもかかわらず、方丈様のいつも変わらぬ暖かいおもてなしと、慈愛あふれるご教導と励ましのお言葉を頂き、深く感謝合掌申し上げます。あの時お連れした中国（南京）の伴さんとビルマのルインさんの一人の青年は、日本滞在中

あります。

あの時ご紹介申し上げた通り、伴

さんは上海の師範大学で教育学を教え、ルインさんはラングーン市内の高校の数学の教師です。いずれも日本政府の招きで日本に教育研修に一年半の滞在で横浜国立大学で学ぶ国費留学生です。

弘明寺の留学生会館にはこうしたアジアからの留学生が百五十人寄宿申し上げます。あの時お連れした中国（南京）の伴さんとビルマのルイ

ンさんの一人の青年は、日本滞在中してお世話の奉仕をしております。

のはじめての日本の仏教寺院の見学とあって、たいそう感激し、あの立派な和風陶器のお土産を頂き大喜びでした。故国に帰つても大切に飾つて、日本の思い出にしたいと申して

紹介申し上げた二人の青年はタイ

（ワナー）、マレーシア（アブサン）

からの研修生でした。やはり、政治体制が似ると、互いに仲良くなるの

でしょうか。

マレーシアのアブサン君はこの三月故国に帰りました。今、クアラルンプールの文部省視学官の仕事で活躍しています。ワナーさんは、方丈

様も長く滞在修行されたタイの出身

で、来年の三月帰国予定です。文部省の大学局というところに勤めているそうです。いずれも、その国のエリートで、帰国して立派な指導者になる青年達です。アブサン君が先月

便りがありました。方丈様に、くれ

ぐれもよろしくお伝え下さいとのことでした。祝迦殿の莊嚴さに打たれましたとのことでした。

実は、彼は敬虔なイスラム教徒です。日本滞在中には家族共に厳格なイスラムの教義に従い、礼拝や斎戒（断食）、喜捨（ザカート）といった戒律を固く守っているのです。あの三十日間のラマダンは、イスラム暦の九月ですが、その間、言ふことを慎み、黎明（れいめい）から日没まで、飲食、し好品、その他の欲望を一切絶ち、アラーをもつぱら念ずるという生活が営まれていました。その戒律の厳しさと布教・教化の徹底ぶり、そしてその生活がごく普通の教徒たちにごく自然に定着しているという点に改めて驚かされま

した。

先日うかがつたビルマのルインさんは熱心な仏教信者で、毎朝、晩と三十分ずつ仏様に手を合わせ、瞑想することを、日課にしているそうです。東南アジアは様々な民族、文化、宗教が同居する国々で成っていますが、各々のグループに属する青年達は各々の宗教的伝統を尊重し、自分達の生活と心の扱りどころとして大切にしていることが彼らと交際してみるとよく分かります。ところで日本はどうでしょうか。

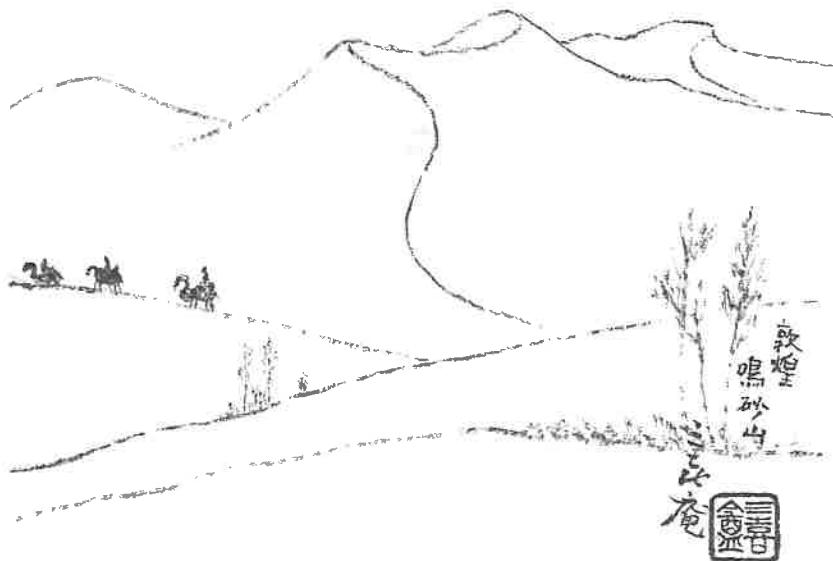
神奈川新聞（六月二十日号）の「横浜市民の宗教意識世論調査」によると、宗教を信仰している人は三分の一で、このうちなんと一八・四%が「新宗教」信者という結果が明

らかにされています。これでも「第三次宗教ブーム」といわれる程関心は高まっているそうです。いずれにしても、日本人の宗教意識は極めて低く、信仰心ある者のはほとんどが既成教団の名をあげてはいるものの、若い世代の多くが新興宗教、新・新宗教に魅かれている傾向が読みとれます。南区宮本町にある大山祇命神示教会は、神奈川新聞でその実態が連載されていますが、私も興味深く毎日これを読んでおります。あわせて、既成教団の動向を詳細に報ずる「中外日報」も毎回読んでいます。横浜の「神示教会」がなぜ青年層にそれ程強烈にアピールするのか、という問題は、既成教団がなぜ若者達を魅きつけないかという疑問と重な

り合うような気がします。

要するに、われわれ自身の布教、
教化のあり方が、やはり彼らによつ
て問われていると、私は考へていま
す。

その点で、善光寺は方丈様が青年
僧を海外に送り、現地の仏教をじか
に体験してもらうという「留学僧派
遣事業」は、十年、二十年先を洞察
された仏教振興の方途を示されたも
のと注目されるわけです。まさに人
材育成・教師養成は仏教の「百年の
計」ともいうべきもので、二一世紀
の国際化の時代を、先どりするすば
らしい、プログラムがスタートした
と、喜んでおります。出来る限り、
微力ながらお手伝いいたしたいと存
じます。



今後も私は教育研究を続け、引き続
き海外からの留学青年のお世話を

するつもりですが、以上申し上げた
課題意識をもつてわが国の仏教伝道
の使命を果たしたいと考えております。
これからも、どうかご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げま
す。お礼とおわびをかねて、最近の
所感を綴らせて頂きました。時節が
来、ご自愛専一をお祈り申し上げま
す。

国立教育研究所所員

興全寺住職 菊地 英昭

合掌

賜りまことにありがとうございました
た。

「明日世界が破滅するときまつたら
あなたはどうするか」世界の破滅だ
からどこにも逃げ場がありません。

私は即答できず迷いおののくでしょ
う。たとえば欲望のままに好きなこ
とをするといつても絶望や恐怖など
から逃れることはできません。

今の子供と昔の子供の決定的な違
いは物質や文明の豊かさではなく今
の子供は未来の果てに「世界終末戦
争」を見ていることです、意識する
しないにかかわらず。無意識のうちに
核ミサイル戦争をみている子供の
心の底にある絶望感をとらえなくて
なって申しわけありません。また過
日は小松さんの葬儀に深いご配慮を

ません。大人、子供を含めて「世界
の破滅」が今にも現実となりうる心

の状況にこたえるのが現代の仏法で
ありますよう。りんごの木を植える
ことは常識ではまったく無意味です。

海外留学僧は現代の仏法の一つの
証であるといえます。ただ仏法を説
くだけでは足りません。右にのべた心
の飢餓にこたえる仏法は一つの実行
によって説かれます。この実行が海外
留学僧派遣制度の実施です。これこ
そはいま・ここ・われの現在に全力
を投入して生きよという道元禅師の
説くところであり現在の仏法の「初
転法輪」だと思います。

明日世界が破滅するにしてもいつ
もと同じように生きていける「平常
心」に少しでも近づきたいと願つて

◆前略

詩一篇、同封いたしました。遅くな
つて申しわけありません。また過
日は小松さんの葬儀に深いご配慮を

おります。未筆ですが、自分に出来ることでお寺に奉仕することは檀徒の当然のつとめですから原稿料その他についてご放念くだされると重ねてお願ひ申し上げます。

詩人 赤間 義徳

◆このたびは「成寿」と留学僧公募の資料を送つていただき、ありがとうございました。
私も六十年度一年アメリカに滞在し、この計画の重要さを認識することができました。そして、この計画が軌道に乗りまつたら、次には外国から日本に仏教の勉強に来る人々のサポートが頂載できればなどと考えてしまつた次第です。

私も駒大の教員の一人として微力

をつくります。御大願が成就してゆくことと法体の長養を祈念し、御礼をいたします。

駒大教授 吉津宜英

◆「成寿」第五号をお送りいただき、厚くお礼申し上げます。充実した内容で感銘深く読ませていただきまして、第五号のハイライトは、博志様の得度のニュースだと思います。佐藤俊明老師のご祝辞のように「善光寺裡、春天の歓び」だと思います。

◆権大教正資格基準は「一寺創設、弟子十人養成とすべきだ」というのが私の持論です。近鉄奈良駅前の行基菩薩行乞像の前に、今奄美大島出身の坊さんが新寺創設の願いを立て十年の行乞をやっています。

ダラニ研究家 坂内 龍雄

◆拝啓 あじさいの眼にしみる候となりました。ご健勝のこととお喜び

た。海外派遣留学という大学とか宗務庁とか本山でやる仕事を一寺院でおやりになるとはえらいことです。親ゆずり師匠ゆずりの寺に蟠居（ばんきよ）している時代に、よくぞここまでおやりになつたと感心しています。

鶴見大学教授 角家 文雄



申し上げます。この度は「成寿」夏季号のご恵与に預かりありがとうございました頂いたしました。毎号拝見したしその活躍の深さと広さには常に敬服いたしております。なかでも海外留学僧派遣の大仕事に傾けておられるとご熱意は誌面の隅々にも満ちており、頭の下がる思いがいたします。本号ではご令息ご得度の写真を拝見しておられます。

「仏祖の心」「燃え続ける芸術人生」からは仏心の豊かさと芸術理解への風姿を感じさせて頂きました。不日新収蔵品など拝見の機に恵まれ季号をご恵送下されご厚志ありがとうございました。拝受、一字一頁を読誦させていただいております。

前号拝受の折にお礼も申し上げず申訳けなくおわび申し上げます。春来老妻病気入院療養中日々付添看護の為つい失念いたしお許してください。

海外留学派遣の大事業の外、各方面に力をそそがれるご精進尊く感激い

申し上げます。この度は「成寿」夏季号のご恵与に預かりありがとうございました頂いたしました。毎号拝見したしその活躍の深さと広さには常に敬服いたしております。なかでも海外留学僧派遣の大仕事に傾けておられるとご熱意は誌面の隅々にも満ちており、頭の下がる思いがいたします。本号ではご令息ご得度の写真を拝見しておられます。

見いたし、成寿山善光寺が三箭（さんせん）一束の実を示されたことに衷心よりお喜び申し上げるとともに、ご令息の一層のご多幸をお祈り申し上げます。

棚機後一日 東洋大学教授 廣島 一雄

れば眼福の至りと考えております。取りあえず厚くお礼を申しあげます。敬具

◆涼風、微涼を覚える好季節を迎える尊師愈々ご清々ご活躍慶祝申し上げます。ご発行の成寿前号に統いて夏季号をご恵送下されご厚志ありがとうございました。拝受、一字一頁を読誦させていただいております。

たしております。博志様得度至祝不尽です。愚僧も七十年前の得度が追憶されます迄に阿呆僧となりました。ありがとうございました。ご自愛下さい。

元本山維那 牧 寛 樺

◆拝啓 いよいよ梅雨入りとなり、大地も潤い、緑の精彩を放つております。ご一統様には、ますますご清栄のご様子まことにご同慶の至りに存じます。

このたびは、成寿第五巻のご惠贈を賜りまして、ありがとうございました。海外留学僧派遣の大事業を実践なされ、寺門の隆昌と飛躍を推進されるご尊公の行動力にただただ感嘆しております。

ます。

寺誌の成寿、内容はもちろんのこと、表紙カットに至るまで充実した編集振り、正に美術誌の趣さえ覚えます。

当庵のささやかな文庫の資料として、来庵者にも毎号読まれておりますことをここにあらためてお礼を申し上げます。

時候不順の砌、充分なご養生を祈念いたします。

右、お礼まで。

敬具

丙寅六月十九日

駒大一服会初代会長

西館 宗龍

◆謹啓 梅雨の候貴海外留学僧育英会のご発展慶賀に存じます。

このたびは『成寿』第五巻夏季号

のご惠贈を感謝申し上げます。私共

協会の印度山日本寺諸事業と貴会の材育成の尊いご事業は車の両輪の人材育成の如く密接な関係を持つております。

隆司師はたびたび印度山日本寺にも行脚され、その当選論文をなつかしく拝読いたしました。河内義宣師の求道の情熱にも心をうだれました。

いま最も大切なことはこれらのすばらしい人材に十二分に活動していただける場を提供することです。仏恩報謝仏教興隆の志を同じくする同志として貴育英会の益々のご発展を念じ、当協会の事業に対しても格段のご指導をお願い申し上げます。

時節柄ご自愛の程念じ上げます。

合掌



昭和六十一年六月十六日

財團法人國際仏教興隆協会

事務局 山口 賢

合掌

アジア研究所長 上坂元 一人

◆前略 「成寿」本日拝受いたしました。

◆新緑に薰風の過ぎる天の佳時、尊師始めご一山皆々様にはますますご法光うるわしくご清祥の趣心よりお慶び申し上げます。貴刊成寿第五号をご恵送いただきただただありがたき極み、心より厚くお礼申し上げます。

◆前略 「成寿」本日拝受いたしました。大莞様得度、おめでとうございます。また「善光寺、海外留学僧派遣育英会」大変なお仕事ではございましようが、若いお坊様方がキツと山主様のお心を受けて、立派な実となつていかれることでしょう。

◆前略 「成寿」本日拝受いたしました。大莞様得度、おめでとうございます。また「善光寺、海外留学僧派遣育英会」大変なお仕事ではございましようが、若いお坊様方がキツと山主様のお心を受けて、立派な実となつていかれることでしょう。

◆夏号贈つて下さいまして、ありがとうございました。拝読するのがどうぞざいました。拝讀するのがどんなに楽しいか、また、一つの教えを導いて下さるようでどの本よりすればらしいような気がいたします。今回特に禪と衣食住(1)の中で和服を仕立てている関係上とても興味深く読ませて頂きました。最近の着物離ればひどいものです。なぜか?洋服の方が簡単で価格も安く仕立てる人があまりいらず、動きが取れぬ……等々お召しになる場所も定まつてしまつたような気がいたしますが、たまに着ますと、日本人であると、誇りをもてる時もあります。そして日本人的に一番会うお召し物だと思います。今日も一針一針ていねいに縫い上げています。

◆新緑に薰風の過ぎる天の佳時、尊師始めご一山皆々様にはますますご法光うるわしくご清祥の趣心よりお慶び申し上げます。貴刊成寿第五号をご恵送いただきただただありがたき極み、心より厚くお礼申し上げます。

◆前略 「成寿」本日拝受いたしました。

◆前略 「成寿」本日拝受いたしました。

◆前略 「成寿」本日拝受いたしました。

全福寺檀徒 高山 さつき

善光寺檀徒 風岡 花子

◆前略 初夏梅雨の候ご健勝にてご活躍のこと大慶に存じます。

このたび海外留学人材養成に意慾を専念せられてゐる由、實に畏敬快哉の念に堪えません。海外から仏教求道のヨーロッパ系と多少連関のある小生にとつても今後の發展を刮目（かつもく）してゐる次第で逆に海外からの留学僧に対してもしかるべき道が拓かれるよう望んでおります。

この十月前角老師門下からも宗務庁主催の集会教育參加においてのことと存じますが。

秋田・東伝寺住職 成田 秀雄

◆謹啓 每度「成寿」誌をご惠贈下さいましてありがとうございます。はじめてお会いさせて頂

◆前略 先般春彼岸にはご経科のみお送り致しましたる所、お塔婆を態々墓地にお立て下され、ご配慮の程誠にありがたく御礼申し上げます。

成寿は五号誠に充実した内容にて、

たやすく、ご参詣に上^{アゲル}がれぬ私には方丈様のご法話は何よりありがたく心に沁みて拝見、また伊藤先生の談話は、先生のお人柄をよく了解し得て興味深く拝見いたしました。留学僧のレポート等に方丈様の遠大なご思慮の程の納得できまして遅ればせながら、善光寺護持費貧者の一燈ながら送金させて頂きます。成寿益々充実して参ります事を楽しみにおります。

合掌

日本パクナム会員 渡辺 英俊

◆謹啓 每度「成寿」誌をご惠贈下さいましてありがとうございます。はじめてお会いさせて頂

いてから、はや十五年にならんとし

ますが、この間のご発展ぶりにはただただ刮目（かつもく）するばかり、心よりお慶び申し上げます。

おかげ様で私も元気に池上に通つて、いますが法華經を通して仏道をならつていますとどうしても「禪」に到達して参り、遂に去る五月下旬妻と共に車を駆つて、加越能と旅をして、念願の永平寺及び總持寺祖院にお参りさせて頂きました。現地の風光に接して道元禪師・瑩山禪師を偲び、その感激の未ださめやらぬ時、貴台のご芳情に依り、今交流させて頂けますのはまさしく仏縁と感謝いたす次第です。いづれまた善光寺にもお参りさせて頂きます。合掌

◆謹啓

日頃のごぶさた申し訳けなく存じております。近日中にご氣げんうかがいに参上せんものと存じております。

したところ、本日ごていねいに「成寿」夏季号をご送付下さり、誌中においてご子息博志様、得度なされ由を知りご両親様のお喜びもさこそと心よりお祝い申し上げます。

修行僧の前途は厳しくけわしい道と察せられます、父上のご指導よろしきを得て必ずや大成されると存じ上げます。貴寺釈迦殿にての皆皆様方博志様の前途を祝す様を想い詩作致しました。詩作は生まれてはじめての事、詩の約束事、詩韻も知らず誠にお恥ずかしい限りですが、ご笑覧下さい。

瑞雲香煙充滿堂

如來微笑拜衆生

春日靈光舞散華

歡喜讀經響天空

博志様のご多幸祈念して止みません。

敬白

南無妙法蓮華經

合掌

（惣）富士社長 阿久津經之

昭和六十一年六月十五日

◆「成寿」ありがたく読ませて頂き

ました。私の方の臥竜山頂の宝土日参のご祈念行もおかげさまにてずつとその後止むことなくづけさせて頂いています。どうやらいつの間にか四年もすぎ二月から五年目に入りました。私にとつては先世からの深い因縁のものと思つて今後も頑張つて参らなければと心に決めています。

この頃は「仏恩を報するにてあら

ん」の修証義の一節がわが身のものとしてありがたく感ずるようになりました。

いろいろな意味のご参考にと思い資料一揃いを同封御送り申しあげました。お目を通して頂ければ幸と存じます。ご精進を遙かお祈り申しあげます。

合掌

六月二十三日

長野須坂市

桜井 幸男

◆梅雨を通りこし、さわやかな夏の日射しが目にまぶしい毎日が続いております。

方丈様、ご家族の皆様、お元気でおすごしのこととお喜び申し上げます。今回、成寿第5巻を拝読し、回

を追うごとにその充実ぶりがうかが

われ、方丈様、そして編集スタッフの皆様の並々ならぬ情熱が伝わつてまいります。また伊藤先生の絵、イ

ラストも本を開くたびの喜びであり、感動であります。どうぞこれからも

内容豊かな、すばらしい成寿が出来上がることを、そして少しでもお役

にたつことができる様心から願つて

おります。今後ともよろしくお願ひ

いたします。

追伸

おかげさまでやつと一児の父となりました。これも皆様のおかげと感謝しております。外に出れる様にな

りましたらまたお伺いいたします。

ナリス化粧品 東郷 敏

◆いつもありがとうございます。益

々隆盛であり、善光寺の活動、発展が、成寿夏季号で沸騰しており、たのしく拝読させていただきました。

百五十冊の成寿は全国ナリス社員幹部と、ご販売者の一部の方々に配達させていただきました。今版は善光寺の隅々から、海外と宇宙的視野で

まとめられており、伊藤先生と善光

寺の関り、時期的に盂蘭盆会の解説

など、欲しいもの知りたいことが見

事に編集され、圧巻がありました。

ありがとうございました。

ありがとうございました。
方丈様、ご家族の皆様、お元気で
おすごしのこととお喜び申し上げま
す。今回、成寿第5巻を拝読し、回